

平成27年12月 鴻巣市議会定例会一般質問

質問日 平成27年12月10日(木)

質問順位1 諏訪 三津枝 (一問一答式)

1 健康づくり行政について

(1) いのちと健康を守る地域医療体制をつくることについて

ア 上尾中央医科グループが県病院整備計画の公募に応募を見送った経緯について

(ア) 本市と上尾中央医科グループとの協議経過及び内容

(イ) 本市と県医療整備課との協議経過及び内容

イ 総合病院誘致を早期実現することについて

(ア) 基本計画地である国道17号北側箕田地域の農地転用を進めることについて

ウ 救急医療・産科・小児救急等の医療体制を充実していくことについて

エ 「医療・福祉・集積地ゾーン」から赤見台近隣公園を外すことについて

(2) 介護保険改定における介護サービスについて

ア 通所サービス及び訪問介護サービスを利用している方が総合支援事業に移行しても安心して利用できるようにすることについて

イ 特養ホーム入所を希望する方が安心して入所できるようにすることについて

2 教育行政について

(1) 学校統廃合、小・中一貫教育について

ア 文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置」指針への本市の考え方について

イ 住民の声を反映することについて

質問順位2 橋本 稔 (一問一答式)

1 福祉こども行政

(1) 障害者差別解消法の取組の現状について

ア 障害者の権利や福祉を守る知識や経験者は

- イ 相談窓口の設置は
- ウ 担当職員への研修、説明会等は
- エ 民間事業者、地域住民等への指導啓発は
- オ 障害者差別解消支援地域協議会の取組は
- カ 障害者差別解消に向けての条例作成について

2 環境経済行政

- (1) TPP大筋合意と本市の農業の取組について
 - ア TPP合意の本市への影響は
 - イ 耕作放棄地の解消、活用について
 - ウ 農地バンクの状況について
 - エ 新規就農者の状況について
 - オ 地産地消の取組は
 - カ 広域化する農協との取組は

質問順位 3 加藤英樹（一括質問・一括答弁式）

1 都市計画行政

- (1) 公園維持管理事業について
 - ア 上谷総合公園の利用状況について
 - イ サッカー場の人工芝改修の今後の予定について

2 企画行政

- (1) 国の新型交付金による実施事業について
 - ア 新型交付金にかかる国県等からの情報は
 - イ 新型交付金による本市の実施予定事業は

3 健康づくり行政

- (1) 国民健康保険制度の制度改正について
 - ア 市と県の調整状況は
 - イ 平成30年度に向けた準備としてどのような課題があるか
- (2) 鴻巣ウォーキングポイント事業について
 - ア 事業への申込み状況は
 - イ 申込者へのフォローアップの状況は
 - ウ 次年度に向けての検討項目は

4 建設行政

(1) 市有建物の基礎の安全性について

- ア 全国的に民間建設事業者による杭打ちのデータ改ざんについて拵がりを見せているが、本市の調査状況は

質問順位 4 矢 島 洋 文 (一括質問・一括答弁式)

1 企画行政

(1) 第6次総合振興計画について

- ア 進捗状況は
- イ 目指すべき方向性は
- ウ 人口ビジョンをどのように捉えていくのか

(2) 地方版総合戦略について

- ア 特徴的な施策は
- イ 第6次総合振興計画との関係は

2 総務行政

(1) 職員の定員管理について

- ア 職員数を700人とした根拠は
- イ 職員の適正数の判断基準は

(2) 職員の士気について

- ア 鴻巣市が求める職員像は
- イ 職員の意識調査はどのように行っているか
- ウ 士気向上のための施策は

質問順位 5 菅 野 博 子 (一問一答式)

1 都市整備行政

(1) 鴻巣駅東口再開発事業への市長の政治姿勢

- ア 鴻巣駅東口A地区再開発事業
 - (ア) 住宅棟空床への抜本的対応
 - (イ) ㈱エルミ鴻巣・株主への配当額と今後の見通し
 - (ウ) エルミ店舗の売上状況、三菱商事都市開発㈱との契約状況の見通し

- (エ) Tジョイへの指定管理料は利益に見合ったものに見直すべき
- イ 東口駅通り地区再開発事業は財産権を守り民主的運営を
 - (ア) コンサル・市・理事による「一筆共有」のみを進めて来た誤誘導を改め適正手続をせよ
 - (イ) 都市再開発法の枠組みに違反している市による組合からの「土地」の買取りはできない
 - (ウ) 「分有分棟」も認めた手法をとり入れる本来の権利変換とすべき憲法29条、31条を守れ
 - (エ) 当初高齢者施設の計画を「防災機能公園」にしたが、いつ誰が判断したのか
 - (オ) 市が長年塩漬けにし関係者に多大な損害を与えた責任をどうとるのかどこが「中心市街地の活性化」で「公共の福祉」なのか
 - (カ) 事業費の内容を問う
1850㎡について
平成26年、都計審で土地代（解体整地費込み）で2億2200万円を含め防災公園整備に3億2000～3000万円かかるとされた。現在の事業費はいくらを見積っているか
 - (キ) 市の持ち分の現在の評価額とどのような権利変換となるのか

2 健康づくり行政

(1)総合病院誘致

- ア 計画断念はいつの時点だったのか
- イ 引き続く病院誘致の見通し
- ウ 赤見台近隣公園の位置づけはどうなるのか
- エ 職員の人件費、再整備計画などこの間かかった費用はいくらか
- オ この間市長や県へ出された署名への対応

(2) うんどう遊園

- ア 多大な経費が投下されている。有効な施策か。多くの市民に行き渡る施策に変えるべき
- イ 公園に置くのなら子ども達の遊具を優先に配置を

3 教育行政

(1) 小・中学校の適正規模・配置

- ア いつまでに結論を出すのか
- イ 教育への市民の悩み、子どもの貧困など現状に対応する教育とするためどのように市民の声を集約するのか